

鉄道ピクトリアル

2008年8月号 Vol.58 No.8 通巻No.806

<特集> キハ40系(Ⅱ)

■表紙 JR東日本秋田支社の国鉄色復元車……………長谷 佳敬

藤崎—川部 2007-5-28

ペンタックス67Ⅱ smcペンタックスM★67 400mm F4 ED 1/250 f 11 RVP F+1増感

■グラフィック

—非電化ローカル線の顔— 40旅情 Part2 (1~5ページ)

池田嘉晃・井上 武・神田竜司・佐々木修宏・白土洋次

……………中村哲也・藤木正成・森本裕之・薮下健一・和田京太

キハ40系 思い出カラー—近畿・中国・四国・九州編— (6~7ページ)

……………伊藤俊郎・喜多川昌也・浜村正弘・三ツ谷政久・山口 徹

Special キハ40・47 観光列車用の改造車 JR西日本&JR九州 (8ページ)

……………清藤清常・白戸洋次・浜村正弘・古澤正浩・森 友紀

*

キハ40系 形式集—JR東海・JR西日本・JR四国・JR九州—

……………構成：藤田吾郎… 25

—キハ40タイプの異端児— キユニ28, キニ28・キニ58…構成：編集部… 38

根室本線 幾寅駅を訪ねて……………松居 国男… 40

*

Pictorial Color Gallery 中国山東省兗州磁務局に前進型蒸気機関車を訪ねて

……………川上 亮… 81

神戸電鉄6000系/阪神1000系が近鉄線で試運転/京阪に塗色変更車が出場/能勢電鉄「100周年記念号」運転開始/相模鉄道「走れ! みんなの横浜号」登場/名鉄舞木検査場で第2回名鉄でんしゃまつり開催/JR東海381系廃車ほか 84~90

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)…………… 91

九州の話題 JR九州・松浦鉄道・くま川鉄道……………写真：宮川浩一ほか… 98

筑豊のキハ66・67……………解説：大塚 孝…100

D51その一族—1115分の1の素顔—(95)……………構成：編集部…102

バン格拉デシュの鉄道……………糸原 健…104

■本文

今月の話題：キハ40系……………編集部… 9

石田啓介氏に聞く

新系列気動車キハ181系のトラブルから学んだ車両開発の要

……………聞き手：岡田誠一，構成：服部朗宏… 10

キハ40系 車両のあゆみ〔JR編〕……………岡田 誠一… 41

キユニ28, キニ28・キニ58の一生……………西脇 浩二… 56

キハ66・67形の記録……………大塚 孝… 62

〔キハ40系 車歴表(Ⅱ)〕……………作成：葛 英一・藤田吾郎… 68〕

*

鉄道の話……………編集部… 24

おおさか東線 運行体系の概要……………浅井 宏樹… 78

書評 (537)『鉄道用語の不思議』……………和久田康雄… 80

おおさか東線(放出—久宝寺間)の開業と整備概要……………高橋誠一郎…105

バン格拉デシュの鉄道 端から端まで……………糸原 健…110

私の鉄道人生75年史 第20回 ボルスタレス台車の試作……………里田 啓…114

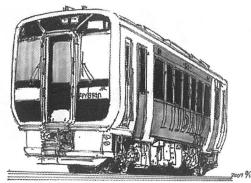
5月のメモ帳……………118

読者短信・情報ファイル……………119

後部車から……………123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

キハ40系

1950年代、キハ17をはじめとした10系気動車が登場、各地の非電化路線近代化を担い運用された。それから20年余、10系気動車の老朽化に伴い、その代替の一般形として誕生した車両がキハ40系である。1977(昭和52)年に、まず酷寒地用キハ40形、暖地用キハ47形が新製され、それぞれ北海道と関西地区に配置され活躍を開始した。以来、キハ40系としてキハ48形が新たに加わるとともに、1982(昭和57)年まで5か年にわたり増備が続き888両が全国各地に配置され、気動車普通列車の主力に成長していった。形態は、キハ40・48形は側引戸が片開式の出入台付き、キハ47形は側引戸が両開式で出入台無し、側戸から直接客室に出入可能な構造である。キハ40系は3形式で構成されるが、製造時から酷寒地、寒地、暖地用で番代が区分され、その数は計13タイプに及んでいる。

キハ40系は国鉄時代最後の標準形気動車であり、全国展開が図られた系列としても最後を飾るものであった。技術的には新系列気動車をもとに、一般形キハ66・67形との共通点が多く、ある意味では新系列気動車の標準形と言える部分もある。しかし、キハ40系登場時は国鉄を取り巻く諸状況も厳しく、開発にはさまざまな制約もあったようで、そうした背景から各地における活躍ぶりとは裏腹に、性能評価は必ずしも満足されるものではない。JR発足以降は機関・車体等の更新、さらに観光列車化した多彩な改造車が誕生しているが、今日ではその後の新開発気動車の勢力に押され気味で、一部は廃車も出ている状況である。とはいえ、趣味的に見たキハ40系の重厚なスタイルは、いわゆる国鉄形車両の魅力に富んでおり、末永い活躍を期待したいものである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan